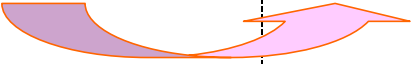


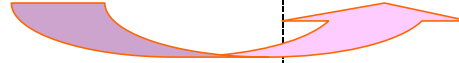
文化芸術の振興に関する基本的施策の推移について

| 基本方針策定前 | 現在(平成17年度) |
|---|--|
| 第2 文化芸術の振興に関する基本的施策 | |
| 1. 各分野の文化芸術活動の推進 | |
| (1) 芸術の振興 | |
| <p>芸術団体重点支援事業(14年度) 予算額:7,657百万円 実績:5分野75団体(音楽、舞踊、演劇、大衆芸能、映画) 内容:我が国の芸術水準の向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い、優れた団体に対して、重点的な支援を行う</p> | <p>芸術創造活動重点支援事業(17年度) 予算額:6,700百万円 実施予定数:5分野(音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能)・697公演 内容:我が国の芸術水準の向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い、優れた公演に対して、重点的な支援を行う</p> |
|  | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffe6e6; display: inline-block;"> 平成17年度より芸術創造活動重点支援事業として、公演単位の支援に変更 </div> | |
| <p>芸術拠点形成事業(14年度) 予算額:1,403百万円、 実績数:文化会館等19件、博物館・美術館31件 内容:公立文化会館や劇場、博物館における我が国の芸術拠点の形成につながる優れた自主企画・制作及び公演等に対する重点支援</p> | <p>芸術拠点形成事業(17年度) 予算額:1,023百万円 実施予定数:文化会館等20件、博物館・美術館34件 内容:左に同じ</p> |
| <p>芸術文化振興基金による助成(14年度) 14年度実績額:合計1,192百万円(692件) 実施数: 音楽 135百万円(38件) 舞踊 42百万円(24件) 演劇 231百万円(81件) 伝統芸能 75百万円(31件) 美術 19百万円(21件) 先駆 80百万円(70件) 国際交流等 46百万円(11件) ・映画製作(劇映画、記録映画、アニメ)208百万円(16件) ・地域文化関係 文化会館 88百万円(96件) 美術館展示 59百万円(55件) アマチュア活動 139百万円(207件) ・文化財関係(歴史的集落町並み、民俗文化財、伝統工芸技術伝承)70百万円(42件)</p> | <p>芸術文化振興基金による助成(17年度) 予算額(17年度内定公表資料による)合計1,563百万円(714件) 実績数: 音楽 171百万円(45件) 舞踊 53百万円(25件) 演劇 354百万円(86件) 伝統芸能 92百万円(35件) 美術 35百万円(27件) 先駆 93百万円(70件) 国際交流等 39百万円(12件) ・映画製作(劇映画、記録映画、アニメ)260百万円(23件) ・地域文化関係 文化会館 138百万円(107件) 美術館展示 107百万円(61件) アマチュア活動 172百万円(186件) ・文化財関係(歴史的集落町並み、民俗文化財、伝統工芸技術伝承)49百万円(37件)</p> |

| | |
|--|---|
| <p>文化庁芸術祭の実施(14年度) 14年度予算:108百万円 参加数:主催公演9公演、参加公演129公演</p> | <p>文化庁芸術祭の実施(17年度) 17年度予算:108百万円 参加数:主催公演13公演、参加公演169公演</p> |
| <p>新国立劇場の充実(14年度) 公演数(平成14年度実績):オペラ68公演、バレエ30公演、現代舞踊12公演、演劇178公演、青少年等対象5公演</p> | <p>新国立劇場の充実(17年度) 公演数(平成17年度予定):オペラ61公演、バレエ31公演、現代舞踊14公演、演劇153公演、青少年等対象12公演</p> |
| <p>(2)メディア芸術の振興</p> | |
| <p>メディア芸術の振興(14年度) 全体予算:1,305百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優秀映画賞 予算:19百万円 内容:優秀な邦画の製作者に対して優秀映画賞を贈呈 ・メディア芸術祭賞 予算:1.8百万円 内容:我が国のメディア芸術の振興を図るため、優れたメディア芸術作品の発表の機会を提供し、創造性あふれる作品を顕彰するとともに、これをお鑑賞する機会を提供 ・優秀映画上映支援事業 予算:121百万円 内容:大手映画会社系列の配給網に載りにくい独立プロダクション製作の優秀な映画作品及び地域で公開される映画作品の上映に必要な映画館の借り上げ経費等の一部を支援 ・芸術団体重点支援事業 予算:727百万円 内容:トップレベルの映画製作団体に対する支援 ・映画芸術振興事業 予算:369百万円 内容:地域において企画された作品、地域を題材に企画された作品の制作活動及び地域で開催される映画祭等に対して支援 ・企画上映・展示・図書閲覧事業(フィルムセンター) 予算:42.2百万円 内容:名作映画等の上演 ・優秀映画鑑賞推進事業(フィルムセンター) 予算:4.4百万円 内容:公立文化施設等で優れた映画作品を巡回上映 ・国際映画祭への出品作品協力事業(フィルムセンター) 予算:3.1百万円 内容:国際映画祭への出品作品字幕作成等を支援 | <p>「日本映画・映像」振興プランの推進(17年度) 全体予算:2,470百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある日本映画・映像の創造 予算:1,415百万円 内容:映画製作への支援(21作品)、映画・映像等の顕彰(メディア芸術祭の開催、文化映画賞)等 ・日本映画・映像の流通の促進 予算:526百万円 内容:海外映画祭やメディア芸術祭への出品支援(34件)、国内上映・映画祭の支援等 ・映画・映像人材の育成と普及等 予算:133百万円 内容:映画関係団体等の人材育成事業の支援、子どもへの日本映画の普及等 ・日本映画フィルムの保存・継承 予算:246百万円 内容:映画フィルムを保存・継承するために、東京国立近代美術館フィルムセンターの機能を充実させる |

・海外に所在する日本映画種集事業(フィルムセンター)
 予算:5.7百万円
 内容:ロシア連邦 Gosfilmofond に所在する日本映画を収集

・映画フィルムの修復事業(フィルムセンター)
 予算:11.8百万円
 内容:フィルムセンター所蔵の劣化著しい貴重な映画フィルムを復元・修復



平成15年4月26日に取りまとめられた「これからの日本映画の振興について～日本映画の再生のために～(提言)」を受けて、平成16年度より「日本映画・映像」振興プラン」を推進

(3) 伝統芸能の継承及び発展

ふるさと文化再興事業(14年)
 予算額:1,790百万円
 事業件数:47件
 内容:地域において守り伝えられてきた伝統文化の継承・発展を図り、保存・活用を推進する。

ふるさと文化再興事業(17年)
 予算額:770百万円
 事業件数:40件
 内容:左に同じ

伝統文化こども教室事業の推進(15年～)
 17年度予算額:1,488百万円
 実施予定数:2,250件
 内容:学校、文化施設等を拠点とし、茶道、華道、日本舞踊、伝統音楽、郷土芸能などを計画的・継続的に体験・習得できる機会を提供

ユネスコ無形文化遺産傑作宣言
 能楽(平成13年)

ユネスコ無形文化遺産傑作宣言
 人形浄瑠璃文楽(平成15年)、歌舞伎(平成17年)

国立劇場等における公演の充実(14年度)
 ・国立劇場公演数:387件
 ・国立演芸場公演数:292件
 ・国立能楽堂公演数:62件
 ・国立文楽劇場公演数:258件

国立劇場等における公演の充実(17年度)
 ・国立劇場予定公演数:386件
 ・国立演芸場公演数:280件
 ・国立能楽堂予定公演数:65件
 ・国立文楽劇場公演数:272件
 ・国立劇場おきなわ公演数:37件

(4) 芸能の振興

芸術団体重点支援事業のうち大衆芸能部門として支援(14年度)(再掲)
 予算:186百万円
 実績:8団体

芸術団体重点支援事業のうち大衆芸能部門として支援(17年度)(再掲)
 予算:249百万円
 実施予定数:60公演

(5)生活文化、国民娯楽及び出版物等の普及

国民文化祭(14年度)
 予算:190百万
 実績:第17回国民文化祭・とっとり2002
 内容:アマチュアを中心とした国民一般の各種の文化活動(民俗芸能、民謡、オーケストラ、合唱、吹奏楽、演劇、吟詠剣詩舞、文芸、美術、映像、お茶・お花・食生活から囲碁将棋までの国民娯楽にいたる生活文化等)を全国的規模で発表する場として、開催都道府県等と共催で開催。

国民文化祭(17年度)
 予算額:180百万
 実績:第20回国民文化祭・ふくい2005
 内容:左に同じ

2.文化財等の保存及び活用

文化財保護関係経費(12年度) 54,048百万円

文化財保護関係経費(17年度) 57,979百万円

指定等を受け保護されている文化財の件数(12年7月)
 指定
 (ア)国宝・重要文化財
 ・国宝 1,056件
 ・重要文化財 12,192件
 (イ)史跡名勝天然記念物 2,569件
 (ウ)重要無形文化財 102件
 (エ)民俗文化財(有形・無形) 397件
 選定
 (オ)重要伝統的建造物群保存地区 55地区
 (カ)選定保存技術 保持者 42件 45人 保持団体 16件 18(16)団体
 (注)保存団体には重複認定があり()内は実団体件数を示す。
 登録
 (キ)登録有形文化財 1,778件

指定等を受け保護されている文化財の件数(17年11月)
 指定
 (ア)国宝・重要文化財
 ・国宝 1,070件
 ・重要文化財 12,486件
 (イ)史跡名勝天然記念物 2,768件
 (ウ)重要無形文化財 109件
 (エ)民俗文化財(有形・無形) 439件
 選定
 (オ)重要伝統的建造物群保存地区 69地区
 (カ)選定保存技術 保持者 48件 52人 保持団体 23件 24(22)団体
 (注)保存団体には重複認定があり()内は実団体認定数を示す。
 登録
 (キ)登録有形文化財 4,805件

世界文化遺産登録件数(平成12年4月) 8件

世界文化遺産登録件数(平成17年4月) 10件

文化財保護法の改正(平成17年4月1日施行)
 保護対象の拡大
 ・文化的景観
 ・民俗技術
 保護手法の多様化
 ・登録制度の拡充

文化遺産オンライン構想の推進(16年~)
 予算額(17年度) 128百万円
 内容:文化遺産情報のポータルサイトの整備

3. 地域における文化芸術の振興

| | |
|--|---|
| | <p>文化財保護法の改正(平成17年4月1日施行) ・保護対象の拡大 文化的景観</p> |
| | <p>「地域文化で日本を元気にしよう!」文化審議会文化政策部会報告書 (平成17年2月) ・地域文化の振興の意義、全国各地の特色ある取組事例の紹介</p> |
| | <p>「関西元気文化圏」の推進(15年~) 「丸の内元気文化プロジェクト」の推進(16年~)</p> |
| <p>国民文化祭(14年度)(再掲) 予算:190百万 実績:第17回国民文化祭・とっとり2002 内容:アマチュアを中心とした国民一般の各種の文化活動(民俗芸能、民謡、オーケストラ、合唱、吹奏楽、演劇、吟詠剣詩舞、文芸、美術、映像、お茶・お花・食生活から囲碁将棋までの国民娯楽にいたる生活文化等)を全国的規模で発表する場として、開催都道府県等と共催で開催。</p> | <p>国民文化祭(17年度) 予算額:180百万 実績:第20回国民文化祭・ふくい2005 内容:左に同じ</p> |
| <p>文化体験プログラム支援事業(14年度) 予算額:1,863百万円 実績:13地域 内容:実行委員会が行う、子ども達を対象とした様々な文化に触れ、体験できるプログラムを支援</p> | <p>文化体験プログラム支援事業(17年度) 予算額:347百万円 採択予定数:99地域 内容:左に同じ</p> |
| | <p>「文化芸術による創造のまち」支援事業(15年~) 予算額(17年度):760百万円 採択件数:15年度 48件 17年度 110件 内容:実行委員会による人材育成、団体育成、発信・交流事業を支援</p> |

4. 国際交流等の推進

国際文化交流懇談会
 ・官民を通じた我が国全体の国際文化交流の理念、目的、推進方策などを検討するため「国際文化交流懇談会」を設置(平成14年度)。計11回の会合を持ち、平成15年3月に報告書「今後の国際文化交流の推進について」をとりまとめた。

関係省庁連絡会議の開催
 ・報告書を受けて、関係省庁等の連携を図るため、関係省庁等連絡会議を設置し、平成17年度までに2度開催。今後は、小泉総理の私的懇談会である「文化外交推進懇談会」の報告(平成17年7月)のフォローアップを担当することとし、第3回会合を平成17年11月に開催した。

| | |
|--|--|
| <p>舞台芸術の国際フェスティバルの開催(14年度) 予算額:874百万円 内容:世界的な芸術団体・芸術家の参加を得て、音楽、バレエ、演劇等の国際フェスティバルを開催する</p> | <p>舞台芸術の国際フェスティバルの開催(17年度) 予算額:339百万円 内容:左に同じ</p> |
| <p>優れた芸術の国際交流(14年度) 予算額:1,828百万円 実績数:104事業 内容:我が国と外国との二国間における芸術交流の推進と海外とのオペラ等の共同制作や世界で開催される有名なフェスティバル等への参加を支援する</p> | <p>優れた芸術の国際交流(17年度) 予算額:1,864百万円 実施予定数:148事業 内容:左に同じ</p> |
| <p>「現代日本文学」の翻訳・普及事業(14年度) 予算額:298百万円 実績数:27作品選定 内容:我が国の優れた文学作品等を英語等に翻訳して諸外国で出版することにより、我が国の文化を海外に発信するとともに、我が国の文学水準の一層の向上を図る</p> | <p>「現代日本文学」の翻訳・普及事業(17年度) 予算額:328百万円 実施予定数:34作品選定 内容:左に同じ</p> |
| | <p>国際文化フォーラム事業(15年度～) 17年度予算額:14百万円 内容:国内外の芸術家・文化人を招へいし国際文化フォーラムを開催 実施件数:1件(関西各地を中心に9つの座談会を開催)</p> <p>芸術家・文化人等による文化発信推進事業 - 文化庁「文化交流使」の派遣等 - (15年度～) 17年度予算額:106百万円 内容:文化庁文化交流使を派遣 実施予定数:17年度指名人数(予定) 14名(16年度から引き続き活動している2名を含む)</p> |
| <p>文化財保護に関する国際協力 ・敦煌文化財保存修理に関する研究協力(昭和61年) ・アンコール文化遺産保護に関する研究協力(5年) ・ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所に対するアジア太平洋地域世界遺産等文化財保護協力推進事業の委託(11年～)</p> | <p>文化財保護に関する国際協力 ・文化財不法な輸入、輸出及び所有権移転を禁止し及び防止する手段に関する条約(ユネスコ条約)の締結 ・イラク文化財保護国際会議の開催(平成15年度) ・アフガニスタン等文化財国際協力会議の開催(平成15年度) ・文化財国際協力等推進会議の開催(平成16年度) ・無形文化遺産保護条約の締結(平成16年度、未発効) ・文化財保護国際貢献事業の創設(平成16年度～) ・西アジア文化遺産保護緊急協力(独立行政法人文化財研究所の運営費交付金において実施:平成16年度～) ・国際会議「有形文化遺産と無形文化遺産の保護 - 統合的アプローチをめざして - 」の開催(平成16年度)</p> |

5. 芸術家等の養成及び確保等

新進芸術家の養成・発表への支援(14年度)

・新進芸術家海外留学制度

予算額: 814百万円

実績: 200人

・新進芸術家国内研修制度

予算額: 152百万円

実績: 84人

・海外新進芸術家招へい事業

予算額: 187百万円

実績: 56人

・新進芸術家の育成公演事業

予算額: 40百万円

実績: 2件

新進芸術家の養成・発表への支援(17年度)

・新進芸術家海外留学制度

予算額: 793百万円

実施予定数: 170人

・新進芸術家国内研修制度

予算額: 210百万円

実施予定数: 70人

・海外新進芸術家招へい事業

予算額: 129百万円

実施予定数: 24人

・新進芸術家の育成公演事業

予算額: 110百万円

実施予定数: 4件

芸術団体等が行う養成・発表機会の充実(14年度)

・芸術団体人材育成支援事業

予算額: 787百万円

実績: 56事業

・優秀指導者特別指導助成

予算額: 226百万円

実績: 9件

芸術団体等が行う養成・発表機会の充実(17年度)

・芸術団体人材育成支援事業

予算額: 890百万円

実施予定数: 116事業

・優秀指導者特別指導助成

予算額: 114百万円

実施予定数: 16件

6. 国語の正しい理解

「これからの時代に求められる国語力について」文化審議会総会答申(平成16年2月)

・国語教育の在り方、読書活動の在り方

国語に関する世論調査の実施(7年～)

・現代の社会状況の変化に伴う、日本人の国語意識の現状について平成7年から毎年調査を実施。

「言葉」について考える体験事業(14年度)

予算額: 11百万円

実績: 12件

「言葉」について考える体験事業(17年度)

予算額: 10百万円

実施予定数: 18件

外来語の言い換え提案(15年度～)

実績: 第1回62語, 第2回47語, 第3回32語, 第4回35語(中間発表)

7. 日本語教育の普及及び充実

| | |
|---|--|
| <p>学校の余裕教室等を活用した親子参加型の日本語教育の開設事業(14年度) 予算額: 2.7百万円 実績: 13件 内容: 実施委員会と日本語教室の設置, 実施事例のHP掲載</p> | <p>学校の余裕教室等を活用した親子参加型の日本語教育の開設事業(17年度) 予算額: 2.0百万円 実施予定数: 9件 内容: 左に同じ</p> |
| <p>地域日本語教育中核ボランティアの育成及び相談事業等の実施(14年度) 平成15年度より「日本語ボランティア活動の支援・推進事業」として再編成し, 施策を推進 予算額: 2.3百万円 実績: 30件 内容: 研修・シンポジウム・教育相談の実施, 報告書の作成</p> | <p>日本語ボランティア活動の支援・推進事業(17年度) 予算額: 2.6百万円 実施予定数: 14件 内容: 左に同じ</p> |

8. 著作権等の保護及び利用

著作権法の改正
 平成14年法改正
 ・放送事業者、有線放送事業者への送信可能化権の付与
 ・実演家への人格権(氏名表示権及び同一性保持権)の付与
 ・レコードの保護期間の起算点の変更
 平成15年法改正
 ・「映画の著作物」の保護期間の延長
 ・教育に係る権利制限の拡大(学校等の教育機関における学習者による複製、 遠隔授業における教材等の公衆送信、 試験問題としての公衆送信、 拡大教科書の作成に係る権利制限)
 ・権利者による侵害行為・損害額の立証負担の軽減
 平成16年法改正
 ・音楽レコードの遺失防止措置
 ・書籍・雑誌の貸与権の付与
 ・罰則の強化(懲役3年 5年、罰金300万円 500万円等に引き上げるとともに、これらの併科を可能とした。)
 ・秘密保持命令の創設、インカメラ審理手続の整備(他法との一括改正による著作権法改正)

| | |
|---|---|
| <p>情報化の進展に対応した著作権施策の推進(14年度) 予算額: 3.3百万円 内容: 情報化の進展に伴う著作権問題に関する調査研究、ITを活用した個人参加のバーチャル著作物マーケットの研究開発等</p> | <p>情報化の進展に対応した著作権施策の推進(17年度) 予算額: 5.8百万円 内容: 「著作物の流通・契約システム」の調査研究、過去の放送番組の二次利用契約を支援するための仕組みに関する調査研究、誰でもできる著作権契約のための「標準契約書式」データベースの構築等</p> |
| <p>著作権に関する普及啓発事業(14年度) 予算額: 5.7百万円 内容: 著作権セミナーの開催、教材の開発・提供、著作権教育の研究開発、著作権読本の配布等</p> | <p>著作権に関する普及啓発事業(17年度) 予算額: 7.5百万円 内容: 左に同じ</p> |
| <p>海賊版対策事業(14年度) 予算額: 5.7百万円</p> | <p>海賊版対策事業(17年度) 予算額: 9.9百万円 実施予定数: 海賊版セミナー12回実施、著作権教材2ヶ国で配布</p> |

9. 国民の文化芸術活動の充実

(1) 国民の鑑賞等の機会の充実

| | |
|--|---|
| <p>国民文化祭(14年度)(再掲) 予算:190百万 実績:第17回国民文化祭・とっとり2002 内容:アマチュアを中心とした国民一般の各種の文化活動(民俗芸能、民謡、オーケストラ、合唱、吹奏楽、演劇、吟詠剣詩舞、文芸、美術、映像、お茶・お花・食生活から囲碁将棋までの国民娯楽にいたる生活文化等)を全国的規模で発表する場として、開催都道府県等と共催で開催。</p> | <p>国民文化祭(17年度) 予算額:180百万 実績:第20回国民文化祭・ふくい2005 内容:左に同じ</p> |
| | <p>「文化芸術による創造のまち」支援事業(15年~)(再掲) 予算額(17年度):760百万円 採択件数:15年度 48件 17年度 110件 内容:実行委員会による人材育成、団体育成、発信・交流事業を支援</p> |
| | <p>文化ボランティア推進モデル事業(15年~) 17年度予算額:50百万円 実施予定数:22件 内容:文化ボランティアの継続的な活動の場の創設、提供を行うモデル的な取組を支援</p> |

(2) 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実

国立美術館・博物館において障害者用トイレ、スロープ等を設置。また、平成14年より、常設展における小中学生の無料化を実施
 国立劇場において、スロープを設置する等バリアフリー化を推進。また、国立劇場の主催公演において託児サービスを開始

(3) 青少年の文化芸術活動の充実

| | |
|--|--|
| <p>本物の舞台芸術に触れる機会の確保(14年度) 予算額:1,900百万円 実績:583公演 内容:学校や公立文化施設で子ども達にオーケストラ、バレエなどの優れた舞台芸術に触れる機会を提供</p> | <p>本物の舞台芸術に触れる機会の確保(17年度) 予算額:2,536百万円 実施予定:611公演 内容:左に同じ</p> |
| <p>文化体験プログラム支援事業(14年度)(再掲) 予算額:1,863百万円 実績:13地域 内容:実行委員会が行う、子ども達を対象とした様々な文化に触れ、体験できるプログラムを支援</p> | <p>文化体験プログラム支援事業(17年度) 予算額:347百万円 実施予定数:99地域 内容:左に同じ</p> |
| | <p>子どもへの日本映画の普及(17年度)(16年度~) 予算:53百万円 実施予定数:123件</p> |
| | <p>伝統文化こども教室事業の推進(15年~)(再掲) 17年度予算額:1,488百万円 実施予定数:2,250件 内容:学校、文化施設等を拠点とし、茶道、華道、日本舞踊、伝統音楽、郷土芸能などを計画的・継続的に体験・習得できる機会を提供</p> |

(4) 学校教育における文化芸術活動の充実

学習指導要領の改正(14年)
 ・歌唱教材にわらべうたや民謡を一層取り上げた 器楽指導では中学3年間で1種類以上の和楽器を体験
 ・小・中学校における和楽器を含む教材整備経費を地方交付税で措置

本物の舞台芸術に触れる機会の確保(14年度)(再掲)
 予算額:1,900百万円
 実績:583公演
 内容:学校や公立文化施設で子ども達にオーケストラ、バレエなどの優れた舞台芸術に触れる機会を提供

本物の舞台芸術に触れる機会の確保(17年度)
 予算額:2,536百万円
 実施予定数:611公演
 内容:左に同じ

学校への芸術家等派遣事業(14年度)
 予算額:98百万円
 実績:208人
 内容:芸術家や伝統芸能の保持者等を学校に派遣し、実技披露や講話を実施

学校への芸術家等派遣事業(17年度)
 予算額:89百万円
 実施予定数:647人
 内容:左に同じ

全国高等学校総合文化祭(14年度)(再掲)
 予算:53百万円
 実績:第26回 全国高等学校総合文化祭かながわ02 14.8.7~8.11
 内容:高等学校生徒の芸術文化活動の向上充実を図るため、日頃の文化活動の成果の総合的な発表の機会を提供することとして開催

全国高等学校総合文化祭(17年度)
 予算:53百万円
 実績:第29回 全国高等学校総合文化祭あおもり05 17.7.27~3
 内容:左に同じ

10. 文化施設の充実等

(1) 劇場、音楽堂等の充実 (2) 美術館、博物館、図書館等の充実 (3) 地域における文化芸術活動の場の充実 (4) 公共の建物等の建築に当たっての配慮

「国立劇場おきなわ」の開設(16年)
 国立国際美術館の移転(16年)
 九州国立博物館開館(17年)

芸術拠点形成事業(14年度)(再掲)
 予算額:1,403百万円
 実績数:文化会館等19件、博物館・美術館31件
 内容:公立文化会館や劇場、博物館における我が国の芸術拠点の形成につながる優れた自主企画・制作及び公演等に対する重点支援

芸術拠点形成事業(17年度)
 予算額:1,023百万円
 実施予定数:文化会館等20件、博物館・美術館34件
 内容:左に同じ

公立文化施設の活性化による地域の文化力の発信・交流の推進(17年度~)
 予算 17年度 128百万円
 実施予定数: 地域連携型自主企画・制作事業への支援
 17年度 アートマネジメント研修 11回
 技術職員研修 10回
 内容:公立文化施設の自主的かつ主体的な文化活動が行われる環境を醸成するため、地域連携型自主企画・制作事業に対する支援や地域相互の情報提供等を一体的に行う。

「廃校リニューアル50選」(15年)
 (例:京都芸術センター、門司港アート村等)
 ・補助金で整備された公立学校の廃校校舎等の転用の弾力化(16年)

11. その他の基盤の整備等

(1) 情報通信技術の活用の推進 (2) 地方公共団体及び民間の団体等への情報提供等 (3) 民間の支援活動の活性化等
(4) 関係機関の連携等 (5) 顕彰 (6) 政策形成への民意の反映等

税制の改正

- ・13年度より、特定公益増進法人である公益法人、独立行政法人国立国語研究所、国立美術館、国立博物館、文化財研究所、日本芸術文化振興会(15年9月～)に寄付した場合の、税制上の特別措置を実施。17年度からは、個人が前述の機関に寄付した場合の所得控除の上限を所得の25%から30%に引き上げ
- ・14年度より、(社)企業メセナ協議会を通して行われる寄付金について、税制優遇措置を受けられる活動の対象範囲を拡大

税制の改正

- ・国等に対して重要文化財等を譲渡した場合の譲渡所得の課税の特例措置を実施(15年度から5年間)

文化芸術懇談会の開催(14年度)
開催数: 9箇所

文化芸術懇談会の開催(17年度)
開催数: 5箇所